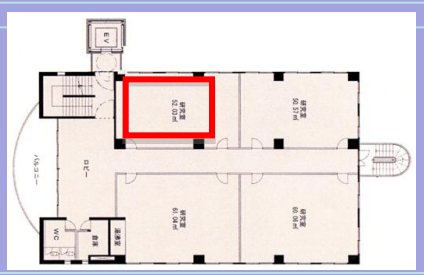
共同利用施設　案内

主任：　篠原昭二
（伝統鍼灸学ユニット：内線320）

室名：東洋医学診断情報解析室

場所：
6号館2階
内線：314
施設利用手引き



概要：　ヒトを対象にした研究室である。
1）筋痛モデルの作成、2）皮膚の硬さ、
3）色計測、4）自律神経測定などが行える。

共同利用機器備品リスト：
1. 筋力測定器(アイソフォース　GT-330), 1台
2. 筋力測定器（マスキュレーター GT-30), 1台
3. 動的触診システム, 1台
4. レーザー硬さ計測器, 1台
5. 色差計（日本Σ 80), 1台
6. 色彩計（CR-300), 1台
7. 自律神経測定ユニット, 1セット
（ポリグラフシステム360、A/Dコンバーター　；MacLab 4c）
8. レーザー血流計, 1台
9. サーモートレーサー, 1台

機器用途【　なにができる？　】

1. 筋肉痛モデルの作成　①②

2. 硬さ計測
体表の硬さを計測
③は専用PCが必要
④は固定台が必要

3. 色の計測が可能。
色差などを計測
⑤⑥とも旧式。

4. 自律神経活動状態を計測。
血流⑧や温度⑨を計測する。
但し取り込み用のPC故障中。

その他：固さ測定用「PEK-1」、圧痛閾値測定用「プッシュプルゲージ」、温度測定用「サーモビュアー」を教室には備えている。

利用の手引き

東洋医学診断情報解析室の利用について

1. ヒト用の研究室です。動物の持ち込みは厳禁です。
2. 使用する際は、必ず主任に相談してください。
   研究室の利用について説明します。
   他の研究状況があるので、使用可能な曜日や時間帯を決めます。
3. 本研究室では、使用した機器は元の場所に片付けてください。
   また必要な消耗品は各自で用意してください。また機器の破損は、
   他の研究に影響を及ぼす可能性がありますので、必ずお知らせください。
4. 使用によって生じたゴミは所定のゴミ箱に捨ててください。ゴミが多い時は
   必ず廊下の方にゴミ箱ごと出してください。
   また鍼など感染したものは、指定の感染性のゴミ箱に入れてください。
5. 研究室にある機器は、基本的には研究室からの持ち出しは禁止です。
6. 研究室では、安静が必要な研究もありますので、他の研究状況を良く見て
   静かに研究を進めてください。

上記の研究室の利用を守らない方は、本研究室の利用はできません。